

警察署協議会会議録

小倉南警察署協議会

開催年月日時	令和7年11月20日 午後4時00分 から 令和7年11月20日 午後5時20分 までの間	
開催場所	小倉南警察署 3階 大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下14名
	警察署	署長、地域管理官、刑事管理官、総務課長、会計課長、生活安全課長、警察署付、刑事第一課長、刑事第二課長、交通課長、警備課長、地域第一課長
議事概要		

【会長挨拶（要旨）】

令和7年度第3回小倉南警察署協議会にご出席いただき、感謝申し上げる。

今年度、警察署協議会委員として「初動対応訓練」「機動隊訓練」「警察学校初任科生の武道訓練」等に臨席し、力強い警察活動や若者が訓練する様子に接し、心強さや元気をいただいた。

本日は匿名流動型犯罪グループや飲酒運転の抑止等について報告が行われる。

市民を犯罪グループに加担させない、飲酒運転を抑止するため効果的な取組につき委員の皆様から、忌憚のない意見をいただきたい。

【署長挨拶（要旨）】

年末へ向け、あらゆる事件事故を防ぐための警戒態勢に入ろうとしている。

昨年末の中学生殺傷事件から1年が経過しようとしており、当署としては痛ましい事件を二度と発生させないという決意の下、各種事案に対する警戒のレベルを上げて対応し、区役所等との連携や情報共有を進めている。

しかしながら全国を見れば、人的被害を伴う凶悪事件が頻発しており、事件を防ぐため「これをすれば完璧」という答えを出すことは困難であるものの、備えを万全とするには、根底として種々の取組に「魂」を入れていくことが重要である。

「魂を入れる」とは、警察はもちろんのこと、地域で生活する市民の皆様が「悲惨な事件を二度と起こさせない」という決意を新たにすること、保持し続けることが大事と考えている。

本年は、通常の年末警戒とは別に、殺傷事件発生場所付近の小学校区で、市民・行政・警察が三位一体で合同パトロールを行う予定であり、その目的は「事件を風化させない」「悲惨な事件を二度と発生させない」という決意を新たにし、その想いを繋ぐ」というもので、他校区でも実情に応じた見守り活動をお願いしている。

議 事 概 要

当署としては、昨年来申し上げているように、「地域の皆様の目と耳+警察力」を併せ相乗効果を発揮すれば、地域の安全、安心を確保するという観点から、その効果は大変大きいという考え方である。

その考え方の下、あらゆる前兆事案から警戒のアンテナを張り、地域の治安対策に取り組んでいくので、皆様のご理解とご支援をこれからもよろしくお願ひ申し上げる。

【報告事項等】

- 1 令和7年1月～10月小倉南警察署治安概況（生活安全課長、交通課長）
- 2 匿名流動型犯罪と少年非行について（警察署付警部（生安捜査担当））
- 3 飲酒運転の抑止について（交通課長）

【質疑応答・意見要望】

○ 匿名流動型犯罪グループについて

委員から「小倉南署管内で、匿名流動型犯罪グループとして把握しているものはあるのか。」と質問があった。

警察署付から「現時点、当署管内では匿名流動型犯罪グループのような非行少年等を検挙済であるが、その他に把握は無い。今後も情報収集、実態把握に努める。」との回答があった。

○ 自転車の交通違反取締りについて

委員から「大学生の間で『今後、自転車の交通違反で切符を切られるなら自転車に乗るのが怖いよね。』という声を聞く。自転車利用が減少して歩行者が増えると仮定した場合の行動変容の見込みなど、警察で検討されているか。」との質問があった。

交通課長から「来年4月から導入される自転車交通違反に対する青切符制度に關し、導入後の交通流等に關する行動変容についての検討結果は、現時点、県警として示されてはいない。周知に向けて様々な方法で県民に対し広報啓発を行う予定である。」との回答があった。

○ 詐欺電話の新たな手口について

委員から「電話番号の頭に『+』が付くような国際電話を通じた詐欺電話は以前からあるものの、最近数字を検索しても発信元の国が判明しない電話番号からの詐欺電話が掛かってくる。どこからか判明しているか。」との質問があった。

生活安全課長から「詐欺電話については、あらゆる方法で発信元の特定を困難にするなど、手法が日々変化している。現時点判明はしていないが、防犯に向け様々な対策を徹底していく。」との回答があった。

【閉会】

以上で、令和7年度第3回小倉南警察署協議会を閉会する。